

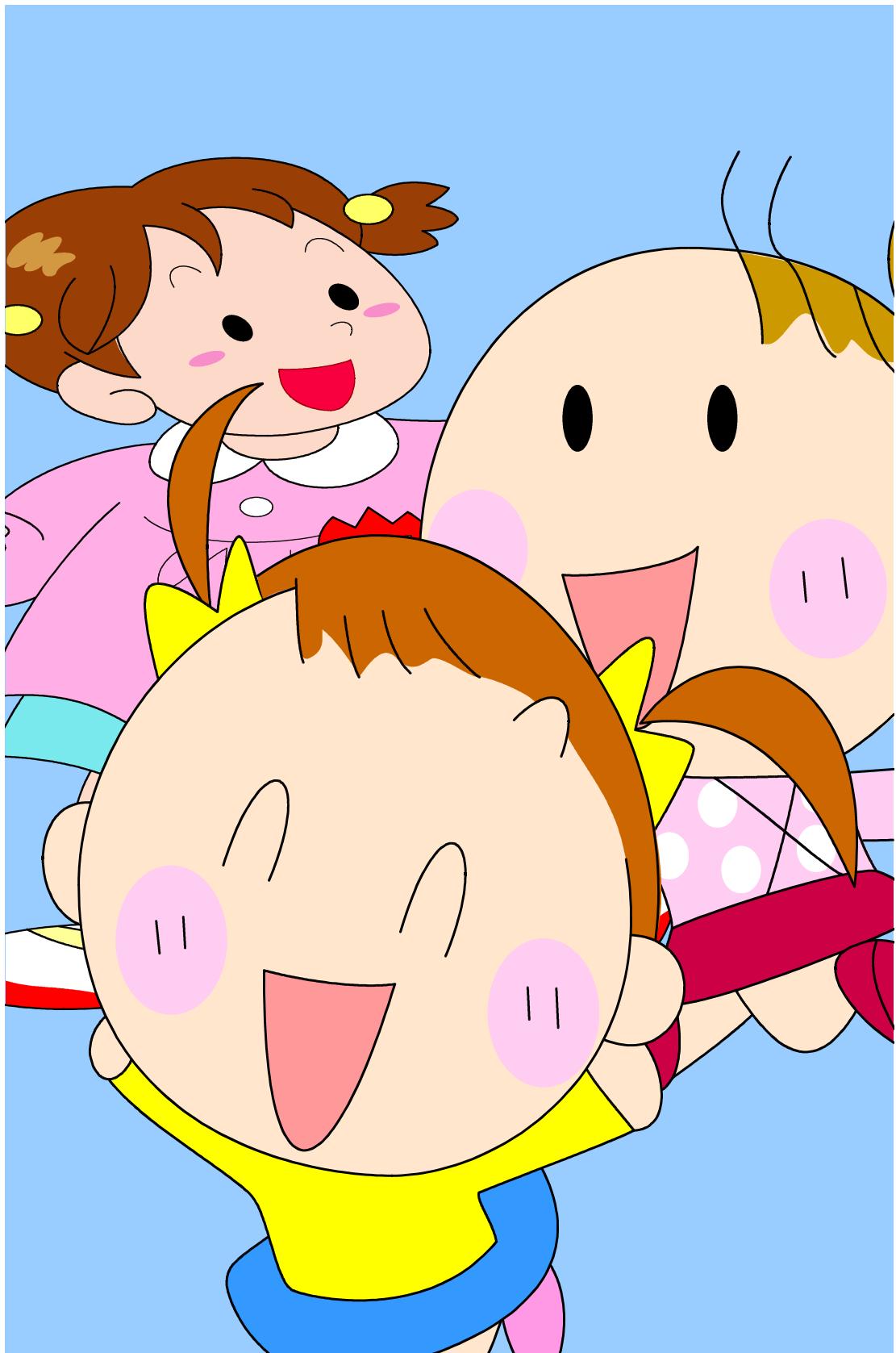


「うつつざかに あそび  
にいこうよ」

「うん いこう」  
と ふたり。

「ねえ ねえ、うつつざ  
かつて、へんななまえだ  
よね」

と だんちにすんでいる  
りりちゃん。



たしかに、へんななま  
えだね。

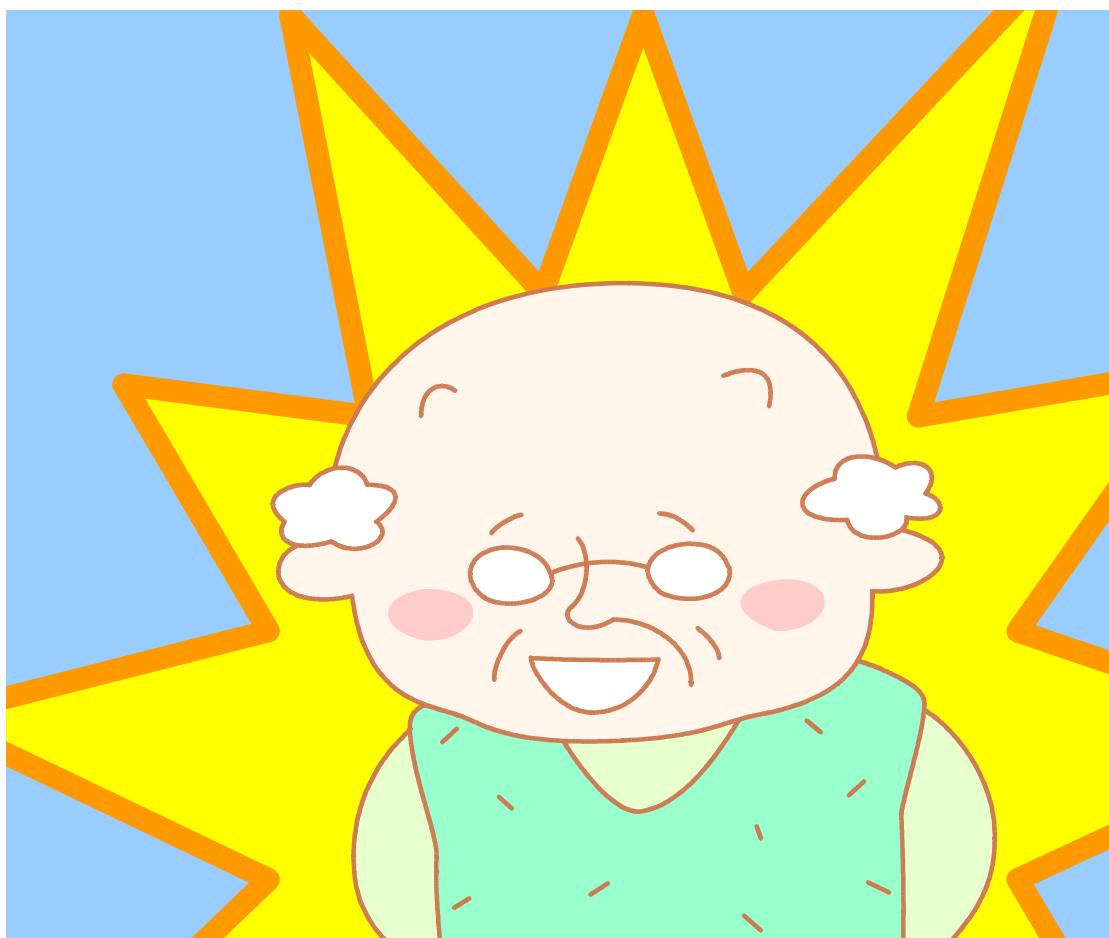
そこで、なまえのいわ  
れを おともだちに、き  
いてみた。

でも

「・・・？」

だーれも しらなかつ  
た。

こまつた3にんは、も  
のしりな なっちゃんの  
おじいちゃんにきいてみ  
た。



すると・・・

「そうだなー。あ、そう  
そう。むかし、「ごんご  
ろう」という さむらい  
が、おってな。

いくさで、めをやでい  
られたんだ。でもね、ひ  
るまず、てきをやつつけ  
たんだって・・・。

そして、いくさから  
かえるとちゅうつかれ  
て、ゆめうつで、さか  
をあがったことから

「うつつざか」

といわれるようにな  
ったんじやよ」

「へえー。うつつざかね  
・・・しらなかつた。」

「ねえ ねえ ごんごろ  
うって、どんなひとだつ  
たの？」

「ん~」

おじいちゃん、こまつ  
しました。

「お・おじいちゃんも  
知らないの！ これは、  
おもしろそうだ。しらべ  
てみよう」

と なっちゃん。

あれあれ、これはおもしろそと、なぜ  
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど  
こかな？



さっそく、つぎのひ、  
おじいちゃんと ごんご  
ろうの おはかのある  
かつらに いくことにな  
った。

ところが、うつつざか  
のてまえで、まいごに  
なっちゃった。

びっくり！

ここは、どこ？

そのとき、ぴかっとひ  
かったとおもつたら　と  
おくに、ひとかけが、み  
えた。

なんと　なんと　ごん  
ごろうと　そのぶかたち  
が、きたに　むかってい  
たのだ。

また、また

びっくり！

そのあと、ごんごろう  
は、「ごさんねんのえき  
のたたかい」にいって、  
しろにたてこもる きよ  
はらせいをほろぼし、だ  
いかつやく。

それだけではなく、て  
きのなきがらを あつ  
め、つかをつくり てあ  
つくほうむった。

これをした ひとび  
とは、

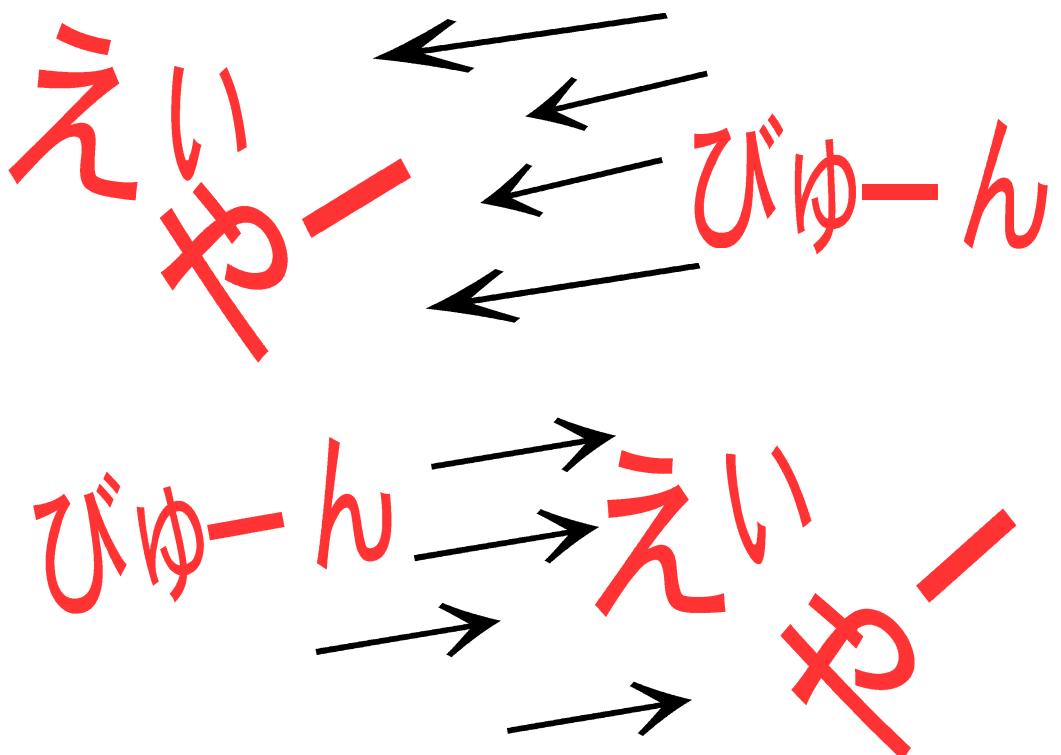
「なんと つよくて や  
さしいぶしなんだ」  
と ほめたたえた。

ごさんねんのえきが、  
おわって、かまくらに  
すくないにんずうで、か  
えるとちゅう

しまだだいで  
ぱったり・・・

てきに であって  
しまった。

さあ、たいへん。てき  
は、おおぜい。



はげしい たたかいにな  
った。

そのときだった。

びゅーん

いっぽんのやが、ごん  
ごろうの みぎのために  
めいちゅう。

あ、いたた！



しかし、ごんごろう  
ひるます、てきに やを  
はなち、さ  
いごのひと  
りまで、た  
おしてしま  
った。



ひっく!  
すごい！

じんに ひきあげると  
ちゅう、ごんごろうは、  
めのはげしいいたみと、  
てきをうちはたした あ  
んしんかんで、ゆめうつ  
つで、さかをのぼってい  
った。

のちに このさかが、  
うつつざかとよばれるよ  
うになった。

じんにかえった ごん  
ごろう。

「めを いられた！」

と おおごえをあげ ば  
ったり たおれた。

みんな

びっくり！

あわてて、ためつぐと  
いうぶしが、めにささつ  
たやをぬこうと かおに  
あしをかけた。すると

「ぶしのかおを どそく  
で、ふむとは、なにごと  
か！」

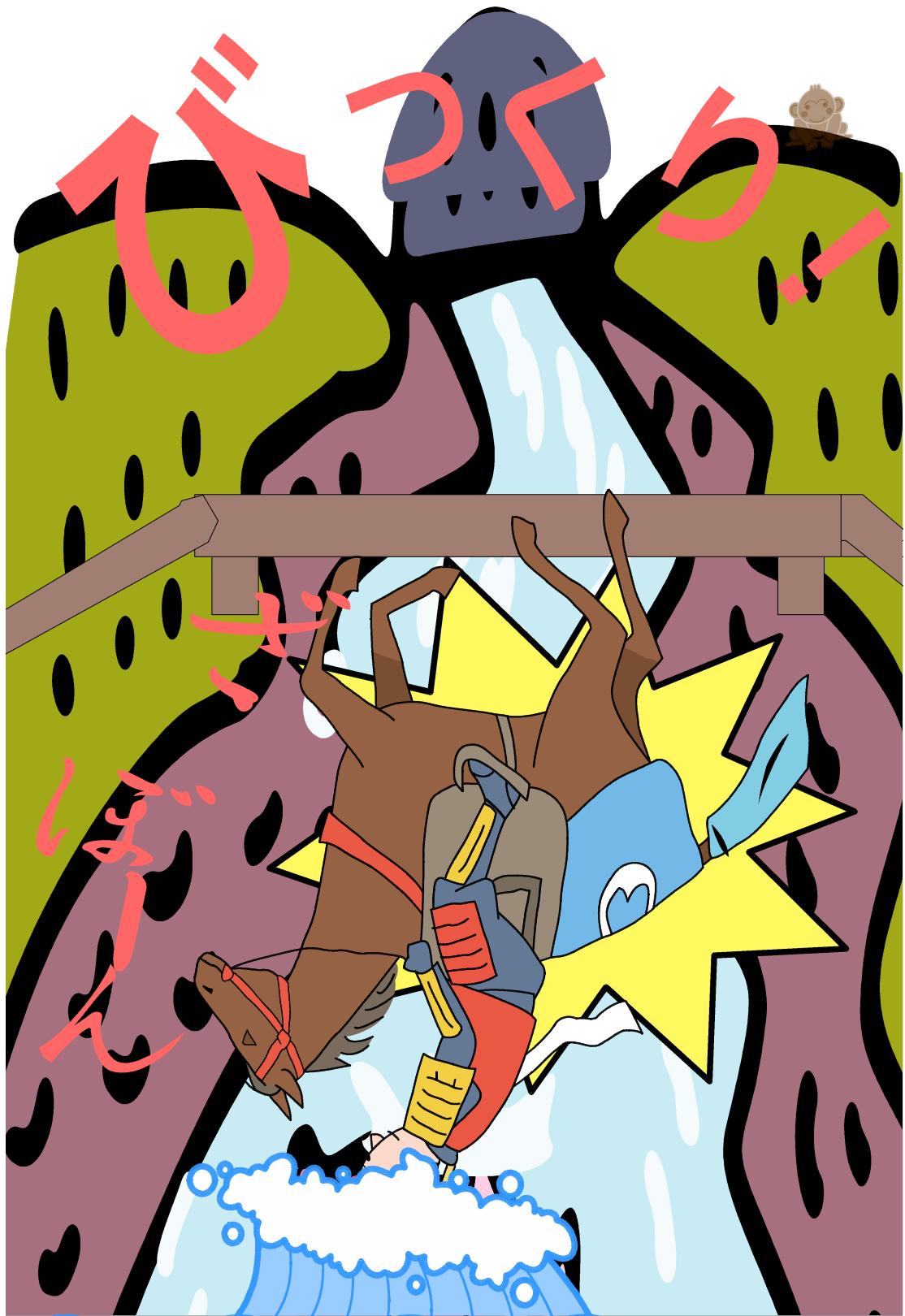
といかつた。

ためつぐは、あやまつ  
て、ひざで、おさえて  
やを むいた。

たたかいのあと、つか  
れたからだで、うまにの  
り、かつらがわにかかる  
まるきばしを わたろう  
としたとき、

あ！

あしが、すべて



かわに おちてしまつ  
た。

ばたばた  
ばたばた

なんども はいあがろう  
としたが、ちからつき  
そのまま しずんでしま  
った。

このはなしを きいた  
さとのひとたちは、ふか  
くかなしみ・・・



そのときだった。

「あ！　ここは、どこだ」

と　なっちゃんが、さけんだ。

やっと、おはかにいく  
みちに　でれたのだ。

「あ～、ゆめだったのか」  
よにんは、やっと「うつ  
つざか」をとおりすぎる  
ことが、できたのだった。

「あ！ そうか、それで  
うつつざかか」

「なーるほどね」

そして

さんには、ごんごろ  
うが、どういうひとか、  
よく わかった。

つよいいしと やさし  
いこころをもった ほこ  
りたかき おとこだった  
んだ。

ひっこり！

だから、おはかや う  
つつざか・おみたらしの  
いけなどちめいや で  
んせつが、いまものこつ  
ているんだ。



常陽リビングより

ごんごろうのおはか



常陽リビングより

おみたらしのいな

びっくり！

すごいなー。

いまでは、はいきんぐ  
こーすも できているん  
だよ。

かまくらごんごろうかげまさ  
**鎌倉権五郎景政物語コース** (No.146)

鎌倉権五郎景政ゆかりの場所を巡るコース

距 離	8.4km
所 要 時 間	約2時間15分
消費カロリー	男性496kcal 女性390kcal
ア ク セ ス	車、自転車、徒歩
ス タ ー ツ	奥野生涯学習センター
地 点 住 所	(牛久市島田町2700-1)



※ うつつざかは、どこかな?  
 おみたらしのいけは、どこかな?  
 ごんごろうのはかは、どこかな?

# びっくり！

「すごい！」

「ごんごろうは、うしく  
のたからなんだね」

と さんにん。

おじいちゃんも につ  
こり うれしそう。

# つぎは、なにをしらべ ようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜなぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながらかえっていった。

おきだわ